

# 交流通信

国内外との交流・多文化共生



## 多文化共生の基礎知識

～外国人も同じ地域の住民として一緒に地域づくり～

### ●多文化共生ってなに？

外国人も同じ地域の住民として互いに認め合い、共に地域づくりをしていこうということです。田原市には、約1,200人の外国人が住んでいて、日本人と同じように働いたり、学校で勉強したりしています。

### ●どうして多文化共生が必要なの？

日本に住む外国人には、生活習慣の違いなどに戸惑う方もいます。日本人と外国人がお互いに理解し合うことが、日常生活のトラブルなどの防止につながります。多文化共生を実現するためには、外国人が地域に溶け込もうとする努力と、地域に住む日本人が外国人を地域社会の一員として認め、協力し合うことが必要です。



### ●外国人支援とは違うの？

外国人支援というのは、困っている外国人を助けてあげようとする考え方です。多文化共生は、外国人も

地域社会を構成するひとりとして、支援される対象にとどまらず、地域づくりに参画してもらおうとするものです。

### ●田原市での主な取り組み

#### ◎外国人のための「生活ガイドブック」

外国人の生活をサポートするための情報を集めた冊子です。英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・タガログ語の6言語版があります。市内の図書館などでお渡ししています。市ホームページ(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)からもダウンロードできます。

#### ◎日本語ボランティア養成講座

外国人への日本語の教え方や日本語についての知識を学び、ボランティア活動や外国人と接するときに役立ててもらおうというものです。今後も、多文化共生についての講座などを企画していく予定です。

▶広報秘書課 ☎22局0138

**◆主な改正点**

●津波浸水想定区域の拡大  
これまでのマップに比べ、区域が大きく拡大しました。浸水被害が心配されますので、速やかに避難できるように備えましょう。

●津波避難対象区域の追加  
東日本大震災のような巨大地震が発生すれば、津波浸水想定区域を越えて津波が襲ってくる可能性があります。津波警報や大津波警報が発表されたら、速やかに高い安全な場所へ避難しましょう。



**こ** んにちは、けんちゃんです。田原市では、内閣府が発表した南海トラフ巨大地震の想定をもとに、**田原市防災マップを改訂し**、2月1日に全戸配布しました。今回は、防災マップの主な改正点についてご紹介します。

けんちゃん

## 防災知恵袋

22



みんなできり組む防災・減災

田原市防災マップを改訂しました

### ●地震災害避難場所および避難収容施設の一部変更

浸水が心配される地区の地震災害避難場所・避難収容施設を一部変更しました。

### ◆注意点

- 津波避難対象区域外でも、津波が襲ってくる可能性はゼロではありません。津波警報や大津波警報が発表されたら、できるだけ高い安全な場所へ避難しましょう。
- 津波避難場所を自分で定めている地区もあります。昨年度、配布した地区ごとの「地震・津波避難マップ」で確認しましょう。

※地震・津波避難マップも順次更新し、該当地区に配布予定

▼防災対策課 ☎23局3548

### 【お詫びと訂正】

この防災マップに誤りがありました。お詫びして訂正します。

避難収容施設一覧表

⑤成章高校の電話番号

正：22局0141 誤：22局3939